

団体名	共生の森
実施都市	宮城県涌谷町
事業名	生薬を活かした包括的な健康づくり
内容	<p><事業の目的> 生薬を活かした包括的な健康促進と町の活性化を目的とする。</p> <p><具体的な目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観賞に適した美しい様々な生薬を町民病院の隣接エリアに植樹することで、センター利用者を始めとする町民の散歩を促す。 ・ 主な生薬に対する住民の理解を向上のため、医療機関に過度に依存しない日常的な健康管理を改善を図る。 ・ 収穫した生薬の出荷や各種食品への加工を通じて新たな収益源を創出し、健康維持と生薬の適正な使用等により医療費の節減と健康な生活を持続を図る。
主な受益者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民全般（とくに町民医療福祉センターを訪れる人々）：67,800人 * 町民医療福祉センターの利用者年間113千人の6割と想定。 ・ 共生の森の利用者（就労支援対象者）：42人（8人）
申請金額	200,000円
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 町民医療福祉センターに隣接するエリアに花壇を整備し鑑賞に適した生薬を植樹（3～4月）・栽培。 ② 同エリアに、各生薬の解説付きの案内板を設置。 ③ 町民や病院利用者に同エリアでの散歩を推奨。 ④ 植樹した生薬（根・茎等）を収穫（10月～11月）し、薬膳その他の商品に加工。 ⑤ 採集された種子は、次年度の植樹に用いるとともに、一部は販売する。
実施体制	<ol style="list-style-type: none"> ① 共生の森（及びその利用者）が花壇整備・植樹・栽培・維持管理を担当 ② 広報とウォーキングの推奨は町民医療福祉センターが担当 ③ 用地（町有地）の確保は役場が町民医療福祉センターと協議済み ④ 医療機関は生薬の適正な使用、生薬加工等は町健康推進協議会と栄養士で住民啓発及び適正な食改善を推進する。
自立発展性	<p>生薬の栽培・加工は共生の森の授産事業において中心的な役割を担っていく予定であり、当支援終了後も本事業を継続的に行っていく。本事業の成果を見て、事業拡大も検討する。</p> <p>次年以降は、前年に採集した種子・苗をもとに植栽を行うため、種子等の調達費用はかからない。また、収穫した生薬やその加工品の販売を通じて一定の収益が生じることから、これにより維持管理費を賄うことで事業は持続的に展開されていく予定である。</p>